



オリーブ通信

野のはな空のとり保育園

2024年 11月

【冬の感染症①】

◎ウイルス性胃腸炎（ノロウイルスよるもの）について

（感染経路）感染者のおう吐物や便を触った手やその手で触れたものを介して感染する。おう吐物が乾燥し、そこからウイルスが飛散しそのウイルスを吸い込むことでも感染する。感染力が強く家族間や集団生活の中で簡単に移ります。

（症状）激しいおう吐・下痢、腹痛、発熱は軽度、

（潜伏期間）24～48時間

※おう吐時のケアについて

①吐いたものを口から取り除きます。

口の中に吐いたものが残っていると吐き気を催すことがあります。うがいが出来るならうがいを促し、出来ないときはぬらしたタオルで口の中をぬぐってきれいにしましょう。



②静かにして様子を見ます。

安静にし、様子を見ます。寝る場合は吐いたものがのどにつまらないよう横向きにします。



③時間をおいてから水分を摂りましょう。

吐いた直後に水分を摂ると、また吐いてしまうことがあります。水分を摂るときは、常温で甘くないもの（吐き気を誘発してしまうため）がよいでしょう。様子を見て顔色が良くなり吐き気が治まったら水やお茶、あれば経口補水液を少しずつ摂りましょう。脱水予防が大切になります。



【おう吐時の処理について】

◎まずは窓を開け換気をします。

① 処理に必要なものを準備します。

消毒液を入れたバケツ、ペーパータオル、捨てられる布、使い捨ての手袋やマスク、大きめのビニール袋数枚、

※消毒液の作り方（0.1%次亜塩素酸ナトリウム液）

→バケツに水2ℓと家庭用ハイター等40ccを入れる

② 使い捨ての手袋やマスクをつけ、吐いたものをペーパータオル等で覆い消毒液をふりかけます。

③ おう吐物ごと外側から中心に向けてすくいとり、ビニール袋に入れます。

④ おう吐物を取りきったら消毒液を浸した布で拭き取ります。その後、水拭きをします。

⑤ 処理が終わったら手袋やマスクもビニール袋に捨て封をします。（固結びにする）ビニール袋を二重にするとより密封できます。

⑥ 終わったら石けんで手をよく洗います。



【おう吐で汚れた服を消毒するとき】

◎園ではお子さんがおう吐した場合、園内感染を防ぐため、衣類を洗わずに密封してお渡ししています。ご家庭での消毒・お洗濯をお願いいたします。

① 手袋とマスクをつけます。

素手では触れず、使い捨ての手袋をつけましょう。

また、マスクもつけておくと安心です。

② 換気をしながら開封しましょう。

おう吐物にウイルスが含まれていることがあります。

必ず換気できる場所で袋をあけましょう。

③ 服についた汚れをペーパータオルなどで拭き取ります。

拭き取ったペーパーはビニール袋入れ密封して捨てます。

④ 消毒液を作ります。→おう吐物の処理の時と同じ消毒液です。

※塩素系消毒薬は衣類につくと色落ちします。85度以上の熱湯に1分間浸ける方法もあります。

⑤ 消毒液にしっかり浸します。（5～10分が目安）

⑥ 他のものと分けて洗濯します。

⑦ 終了後は石けんで手をよく洗います。

